2025/6/23

＜白金標準、「山高ければ、谷深し」が相場の世界・・＞

（出所：オアシス）

2025 年に入り金標準先物の価格は 13366 円から始まり、高値である 16131 円まで 20.6%の上昇を行っているが、白金標準先物は 4686 円で始まると 5 月 25 日の週の終値が 4745 円で推移しており、1.2%の上昇で推移しており、非常に出遅れ感が強い値動きを見せていた。しかし JM 社や WPIC、メタルズフォーカスなどが 3 年連続の供給不足を指摘し、割高な金価格に比べ割安な白金は中国での宝飾需要や現物需要が膨らみ、またロンドン市場におけるリースレートは一時 25%を試す水準まで上昇するなど現物不足の動きを示している。

特に 6 月に入り白金標準先物は、期近 6 月限にスクイズの動きを見せ、4722 円から 6351 円まで上昇するなど期先 4 月限の踏み上げを演出し、期先 4 月限は 5902 円まで高値を試すなど出遅れの白金標準先物は年始から 25.9%の上昇を見せるなど、金価格の上昇率も上回っている。特に週足で見ると今年の安値 4071 円から 5902 円まで 1831 円の上昇を示しており、勢いを無くした価格は、「山高ければ、谷深し」の格言で示す様に、それ相応の修正波動を示す可能性は強まると思え、飛び付き買いは避けた方が良いと思える。

＜テクニカル＞

白金標準先物の週足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では MACD が上昇し、シグナルも上昇している。また RCI では短期が高値で維持し、長期は上昇している。特に日足が 10 週移動平均線から乖離しており、行き過ぎた値段の修正に要注意と思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

〇商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,790,000 円（2025 年 6 月 23 日現在）です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。 〇商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。 〇商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円（2025 年 6 月 23 日現在）です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社（商品先物取引業者）の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当（東京）電話 03-5540-8423 （受付時間：平日 8:30～17:30）

証券・金融商品あっせん相談センター https://www.finmac.or.jp 日本商品先物取引協会相談センター https://www.nisshokyo.or.jp